



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月28日

上場会社名 信越化学工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 4063

URL <https://www.shinetsu.co.jp/jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 斉藤 恭彦

問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長(氏名) 笠原 俊幸

TEL (03) 3246 - 5051

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日 2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有(補足資料は当決算短信に綴じ込んでおります)

決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,496,906	△3.0	392,213	△3.4	405,101	△3.1	293,732	△6.5
2020年3月期	1,543,525	△3.2	406,041	0.6	418,242	0.7	314,027	1.6

(注) 包括利益 2021年3月期 262,230百万円(△8.6%) 2020年3月期 286,889百万円(2.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	706.76	706.26	10.7	12.3	26.2
2020年3月期	755.17	755.01	12.3	13.3	26.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 5,364百万円 2020年3月期 4,327百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,380,615	2,886,625	83.2	6,769.72
2020年3月期	3,230,485	2,723,141	82.1	6,377.93

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,813,137百万円 2020年3月期 2,652,309百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	401,176	△250,719	△91,123	801,596
2020年3月期	412,384	△394,547	△94,055	745,125

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金 総額 (合計)	配当 性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	110.00	—	110.00	220.00	91,473	29.1	3.6
2021年3月期	—	110.00	—	140.00	250.00	103,853	35.4	3.8

(注) 2021年3月期における1株当たり期末配当金については、130円を予想しておりましたが、10円増の140円に変更しております。これにより、当期の年間配当金は、1株当たり250円となります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績及び配当予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示します。

※注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	416,662,793株
	2020年3月期	416,662,793株
② 期末自己株式数	2021年3月期	1,115,572株
	2020年3月期	805,396株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	415,602,349株
	2020年3月期	415,838,457株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	829,065	△1.9	137,341	△7.0	160,800	△3.9	118,910	△9.8
2020年3月期	845,356	2.8	147,639	13.6	167,412	24.2	131,836	35.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	286.12	285.92
2020年3月期	317.04	316.98

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,199,772	856,040	71.2	2,055.94
2020年3月期	1,156,255	821,894	70.9	1,972.36

(参考) 自己資本 2021年3月期 854,340百万円 2020年3月期 820,220百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	P. 2
(2) 今後の見通し	P. 12
(3) 経営方針	P. 12
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 13
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 14
(1) 連結貸借対照表	P. 14
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 16
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 18
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 20
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 21
(継続企業の前提に関する注記)	P. 21
(セグメント情報)	P. 21
(一株当たり情報)	P. 23
(重要な後発事象)	P. 23
(補足資料) 1. 四半期業績の推移	P. 24
2. 設備投資額と減価償却費 四半期推移	P. 25
3. シンテック社の業績	P. 25
4. その他決算主要項目	P. 26
5. 貸借対照表 前期末比増減の内訳	P. 26
6. 配当金の推移	P. 27
7. 市場別売上高	P. 27
8. セグメント別資産	P. 28
9. 平均為替レートの推移	P. 28
10. トピックス	P. 29
11. 主な設備投資	P. 29

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

① 全般の概況

当連結会計年度（2020年4月1日～2021年3月31日）は、4～6月期で世界的な経済活動制限に起因する落ち込みを経験したのち、地域や業種によって差がありながらも需要の回復が見られ、10～12月期は主要な事業分野で需要と市況の復調が進みました。その後も引き続き、需要と市況が総じて改善しました。3月には、米国政府が1.9兆ドル（約200兆円）規模の経済対策法を成立させ、また米連邦準備制度理事会が完全雇用に向けて金融緩和を継続することを確認しました。その一方で、中国政府が5か年計画を更新して、経済成長のため柔軟に策を講ずるとしました。当社グループは、従業員の健康と安全を最優先に、高操業の維持と安定供給の確保、債権保全などの事業要件に注力し、顧客との意思疎通を保ち、顧客にとって価値ある製品の開発を推進し、揺るぎない品質の製品を安定的に供給しました。また、決定した投資案件は計画に沿って実行してまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、次のとおりとなりました。

	(億円)						
	2020年 3月期	2021年 3月期	増 減	四半期毎の内訳			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
売 上 高	15,435	14,969	(△3.0%) △466	3,593	3,511	3,798	4,064
営 業 利 益	4,060	3,922	(△3.4%) △138	909	933	1,007	1,071
経 常 利 益	4,182	4,051	(△3.1%) △131	952	970	1,008	1,120
親会社株主に帰属する 純 利 益	3,140	2,937	(△6.5%) △203	693	709	730	804
R O I C (注)	19.4%	17.2%	△2.2ポイント				
R O E (注)	12.3%	10.7%	△1.6ポイント				
R O A (注)	13.3%	12.3%	△1.0ポイント				
1株当たり							
純 利 益	755円	707円	△48円				
年 間 配 当 金	220円	(予定) 250円	30円				

$$(注) ROIC (投下資本利益率) = \frac{\text{税引後営業利益}}{\text{純資産} + \text{有利子負債} - \text{手持資金}}$$

ROEは自己資本純利益率、ROAは総資産経常利益率。

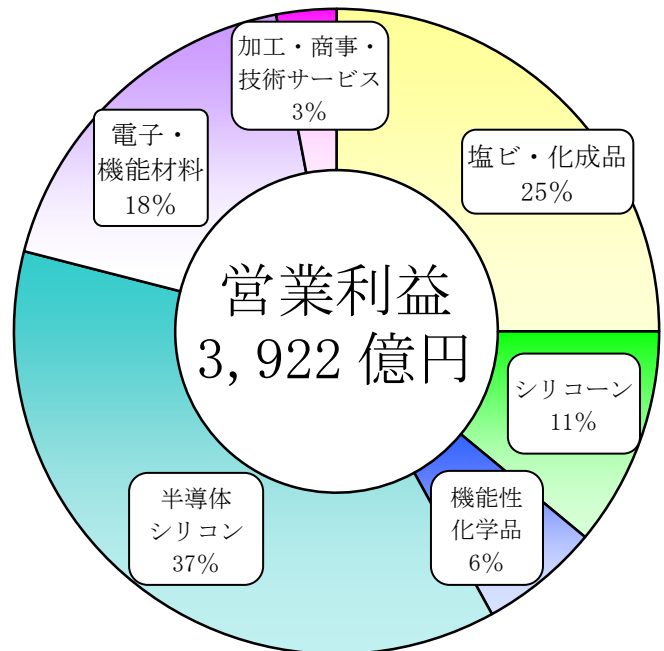
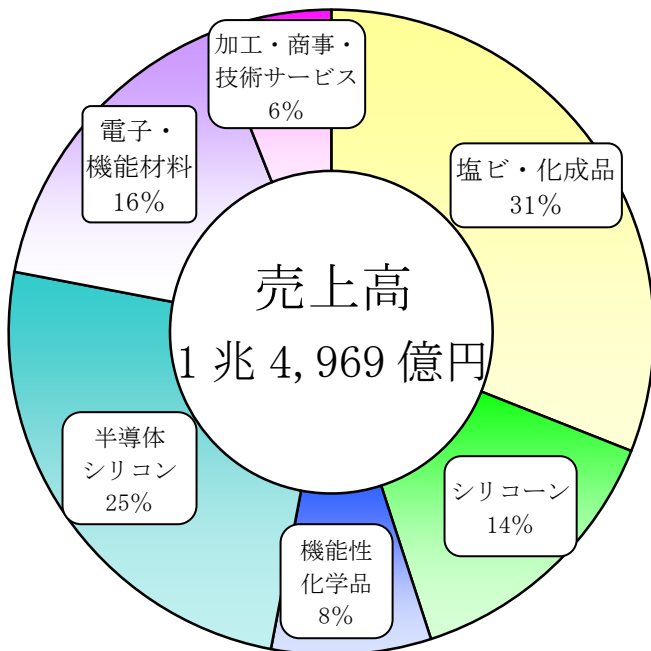
※本資料において億円単位で記載している金額は、億円未満を切捨てにより表示しております。

② 報告セグメント別の概況

セグメント別売上高と営業利益

(億円)

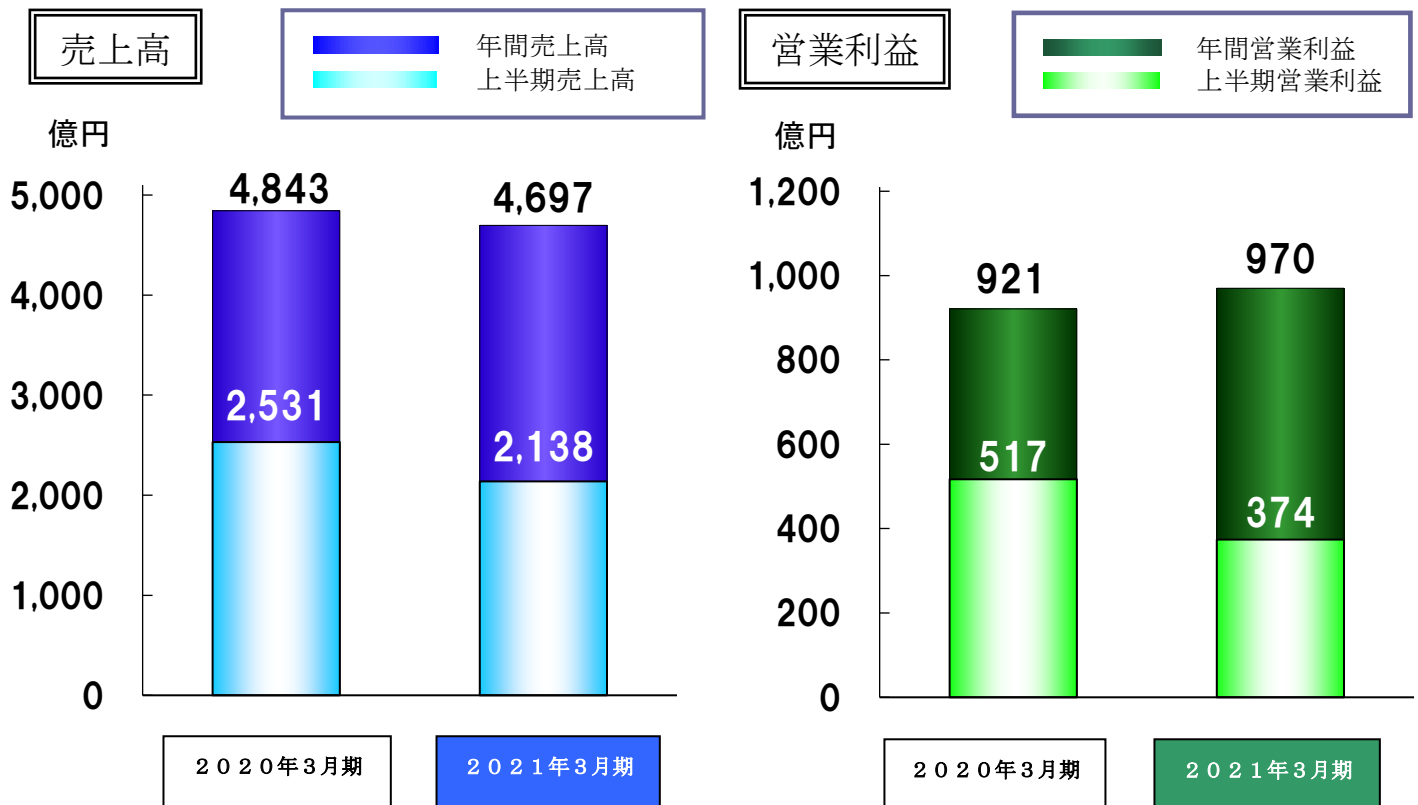
	売上高			営業利益		
	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
塩ビ・化成品	4,843	4,697	(△3.0%) △ 146	921	970	(5.3%) 49
シリコーン	2,268	2,083	(△8.2%) △ 185	614	451	(△26.6%) △ 163
機能性化学品	1,147	1,126	(△1.9%) △ 21	277	218	(△21.3%) △ 59
半導体シリコン	3,876	3,740	(△3.5%) △ 136	1,432	1,441	(0.6%) 9
電子・機能材料	2,251	2,348	(4.3%) 97	685	702	(2.6%) 17
加工・商事・ 技術サービス	1,047	972	(△7.2%) △ 75	148	143	(△3.1%) △ 5
合 計	15,435	14,969	(△3.0%) △ 466	4,060	3,922	(△3.4%) △ 138



塩ビ・化成品事業

	2020年3月期	2021年3月期	前期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	4,843	4,697	△3.0
営業利益	921	970	5.3

塩ビ・化成品は、米国のシンテック社において、フル操業を継続し、塩化ビニル、か性ソーダともに高水準の出荷を維持しました。同社は4-5月の経済活動制限による市況下落の影響を受けましたが、その後世界的に需給が引き締まり値上げを実施しました。欧州拠点及び国内拠点も販売数量の維持に努め、市況の改善を享受しました。

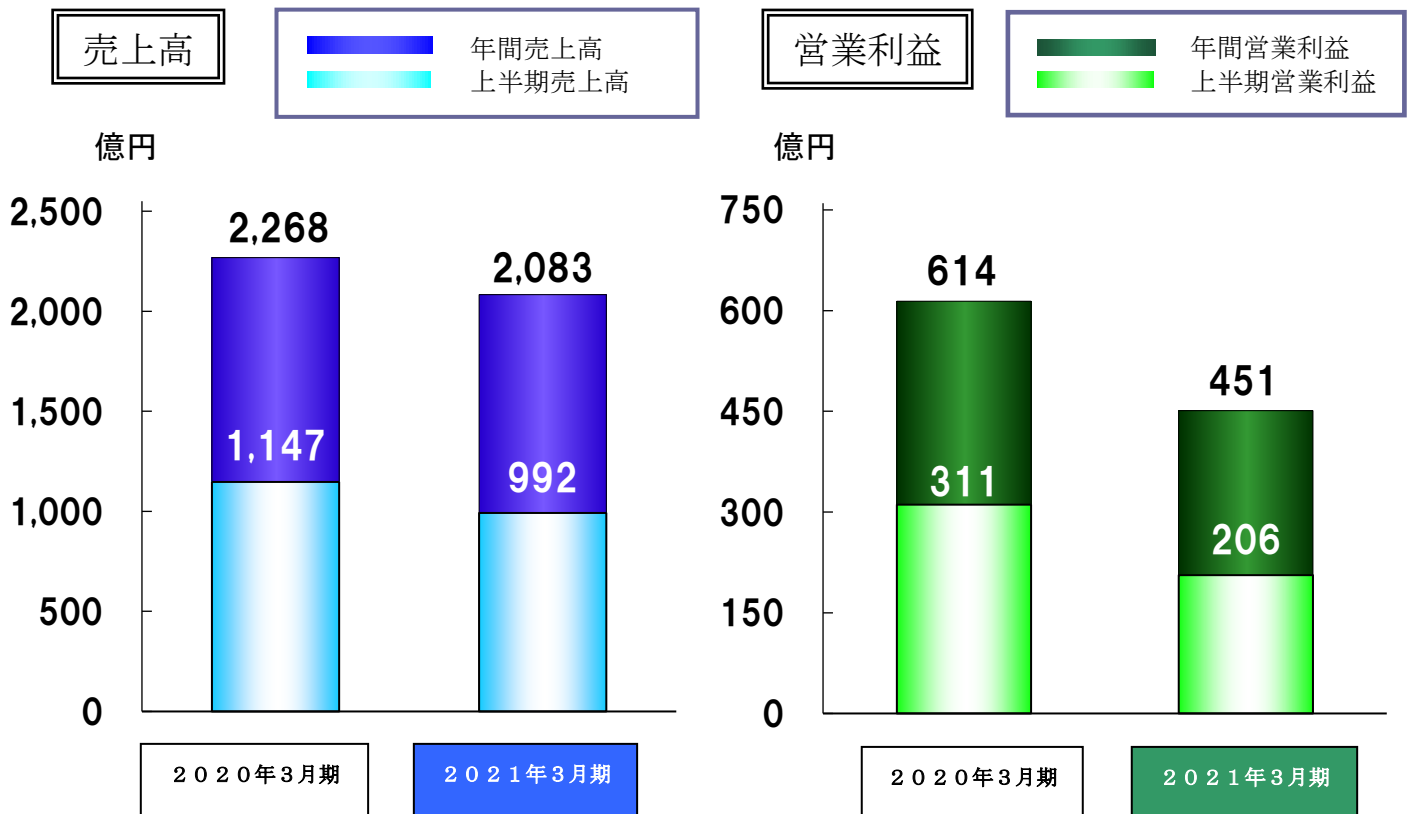


- 住宅建設及びインフラ需要と環境志向の高まりから、世界の主要市場で塩ビ需要の伸長は続く予想。塩ビ樹脂の輸出国である米国の供給能力が、昨年のハリケーンと今年の大寒波を主因とする制約を受け、それを契機に供給不足が発生。供給逼迫はしばらく続く見込み。
- シンテック社の新增設（第1期）は今年半ば完工予定。第2期増強建設が始動。

シリコーン事業

	2020年3月期	2021年3月期	前期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	2,268	2,083	△8.2
営業利益	614	451	△26.6

シリコーンは、汎用製品の価格下落に加え、化粧品向けや車載向けの需要鈍化の影響を受けました。秋口から顧客需要が復調し始めました。

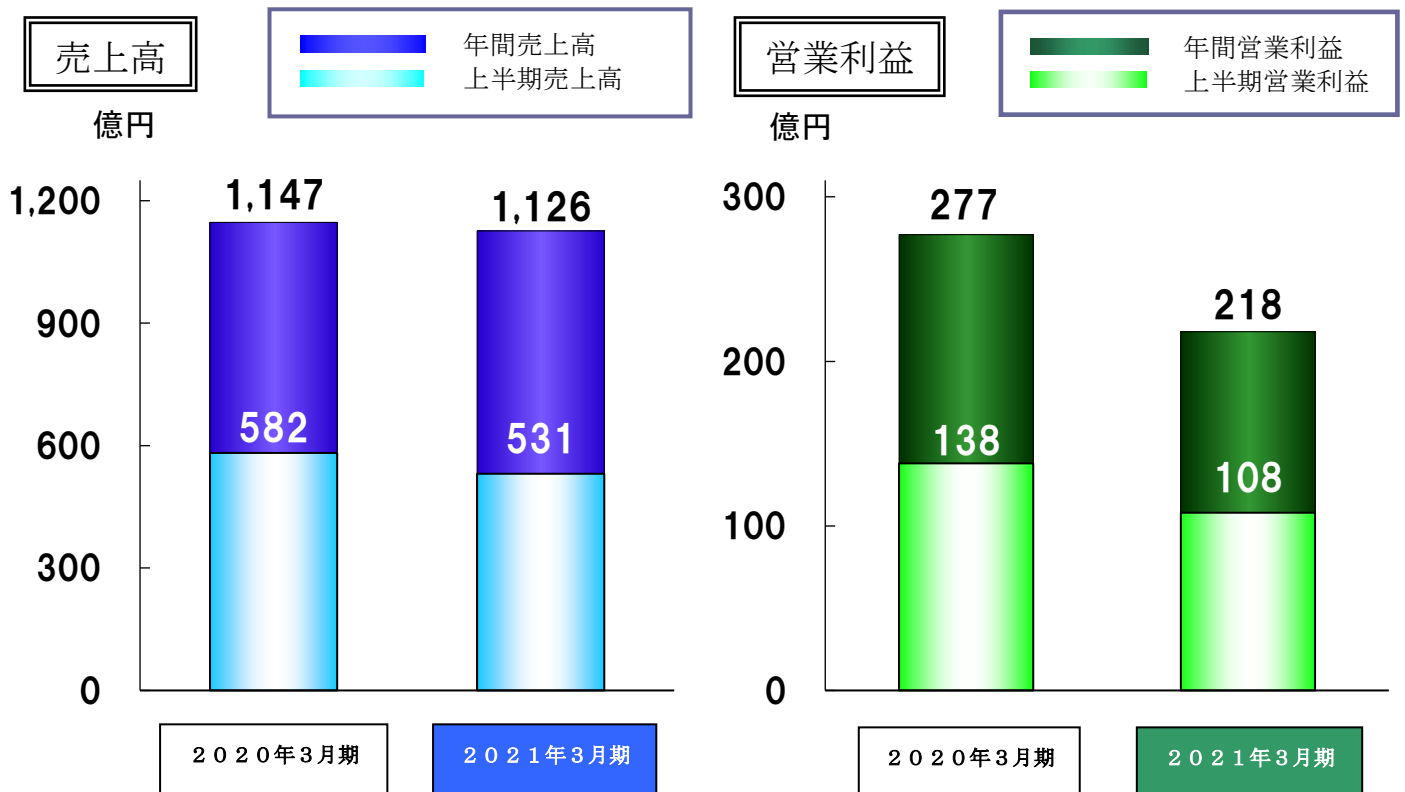


- ほぼ全分野で顧客需要は回復。需要を取り込む一方で、価格修正に着手。当社シリコーン事業の特徴である機能性製品構成の引き上げ。
- 今後とも顧客ニーズに即応し、多様な用途開発を推進。

機能性化学品事業

	2020年3月期	2021年3月期	前期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	1,147	1,126	△1.9
営業利益	277	218	△21.3

セルロース誘導体は、医薬用製品は底堅く推移しましたが、建材用製品が振るいませんでした。フェロモン製品やポパール製品は出荷が低調に推移しました。

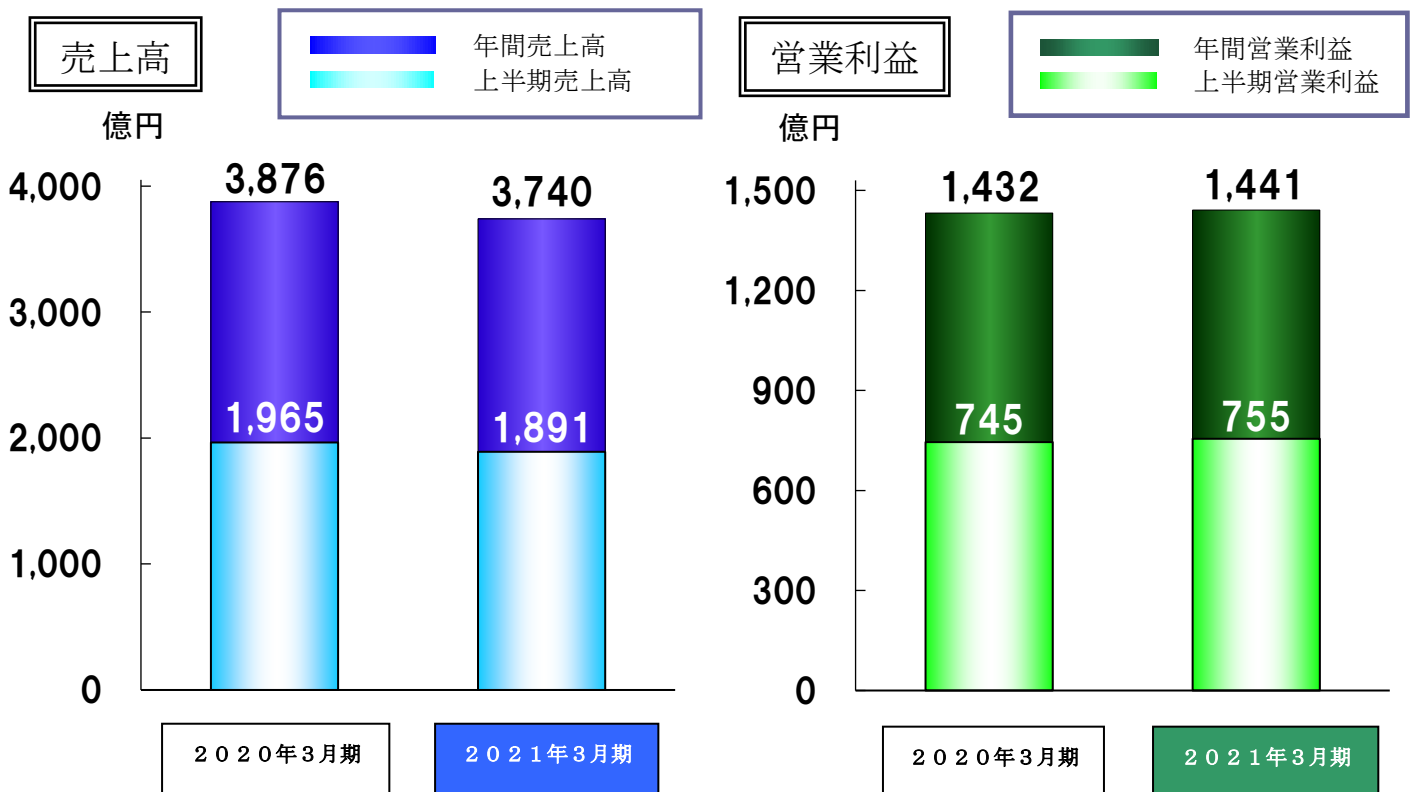


- セルロース誘導体は、製剤・食品用途割合が対前年比1.4%ポイント上昇。
- フェロモン製品の森林保護への適用に着手。

半導体シリコン事業

	2020年3月期	2021年3月期	前期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	3,876	3,740	△3.5
営業利益	1,432	1,441	0.6

半導体シリコンは、経済活動の再開に伴い、需要が増加しました。

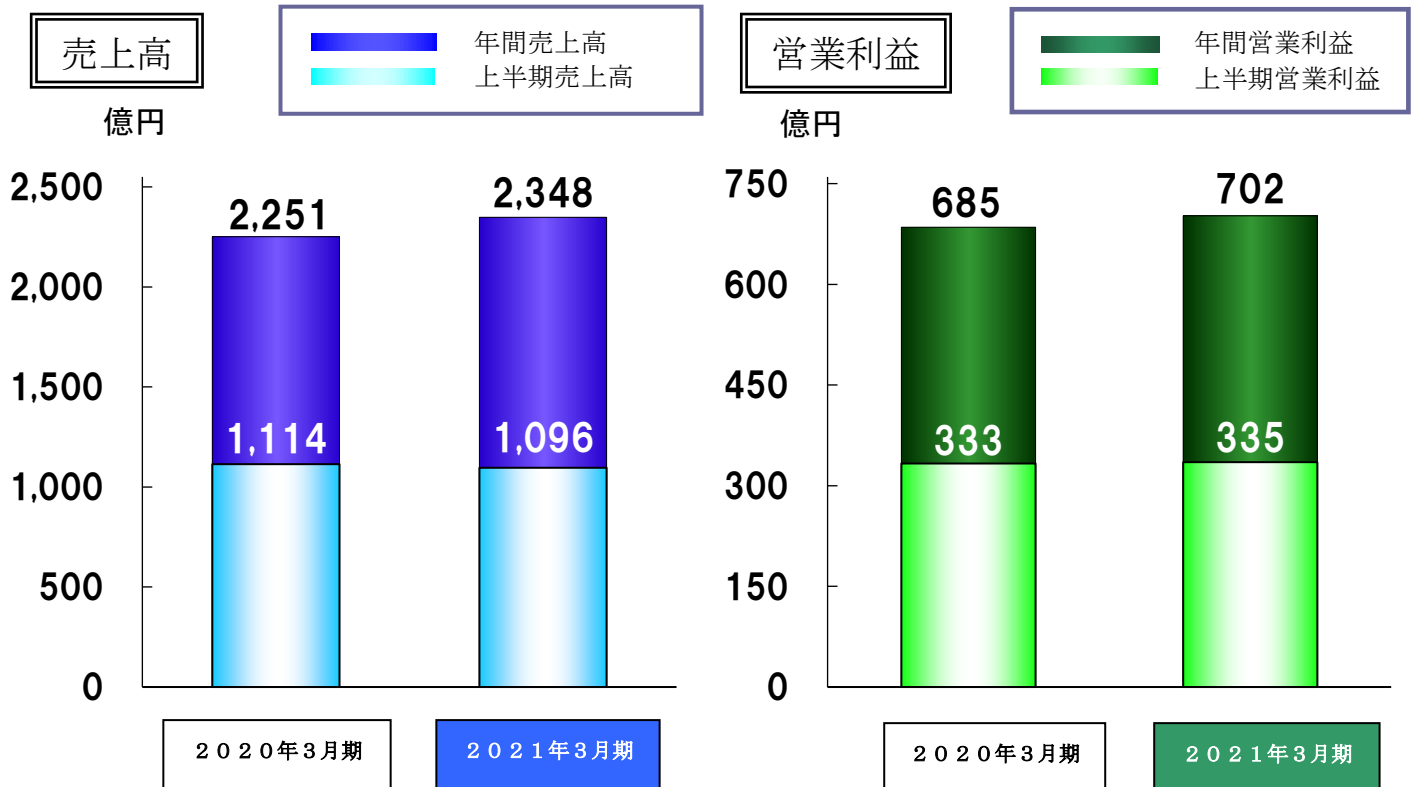


- 半導体デバイスは物不足が生ずるほど、全方位で需要が堅調。
- 半導体デバイスが戦略物資と位置付けられる中、サプライチェーンの要諦の一角として、さらなる微細化を支える極限的品質と安定供給を提供。
- いわゆる経済の「脱物質化」(ディマテリアライゼーション)に向けたデジタル化に貢献。

電子・機能材料事業

	2020年3月期	2021年3月期	前期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	2,251	2,348	4.3
営業利益	685	702	2.6

希土類磁石は、第1四半期当初経済活動制限により一時海外工場の稼働が影響を受けましたが、下期に入り、車載向けは強い回復を示し、ハードディスクドライブ向けも好調に推移しました。フォトレジスト製品は、ArFレジストやEUVレジストを中心に好調を持続しました。マスクブランクスも先端、汎用用途ともに堅調に推移しました。光ファイバー用プリフォームは市況悪化の影響を受け厳しい状況が続きました。大型パネル用フォトマスク基板は需要鈍化の影響を受けました。

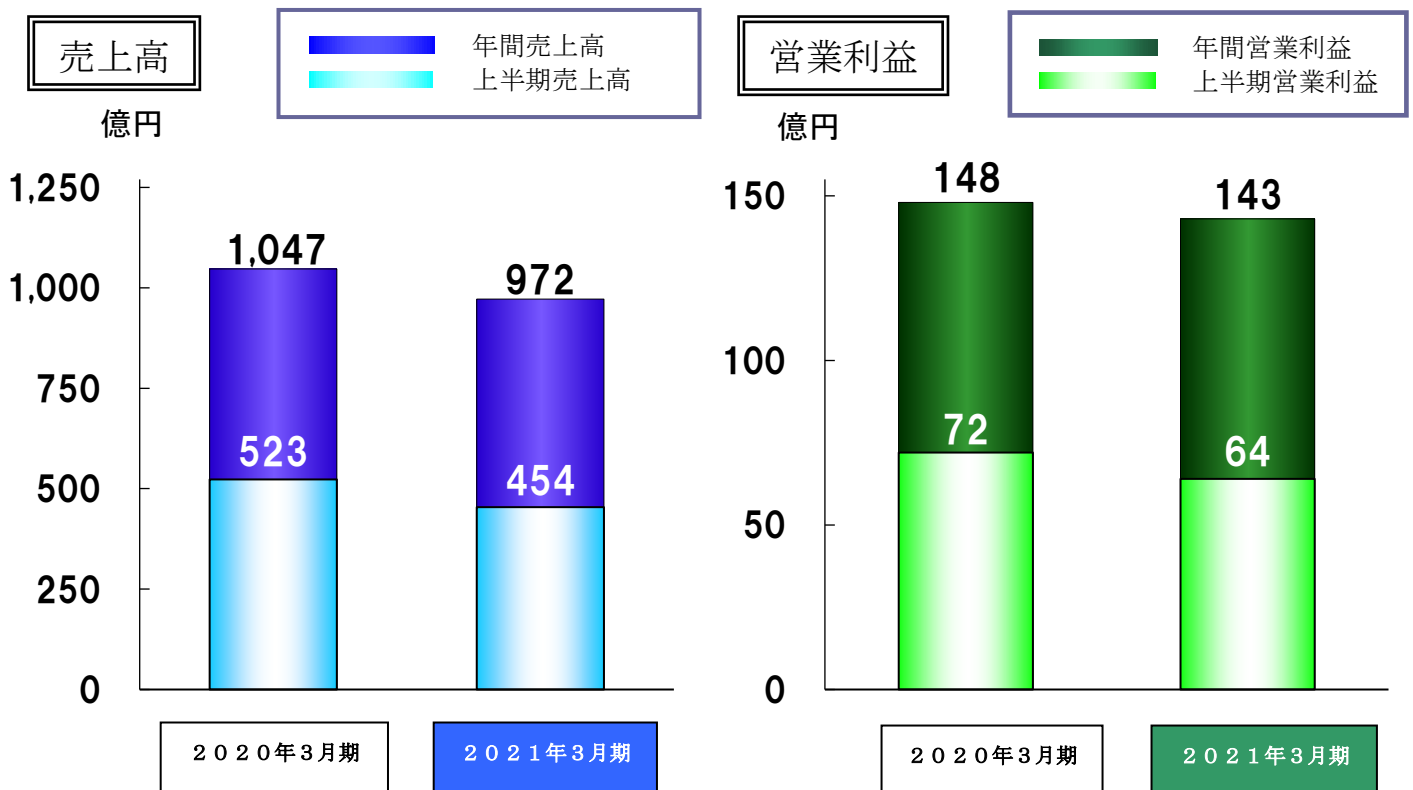


- 希土類磁石は、自動車（特に在来車に比べ概ね10倍多く希土類磁石を用いる環境対応車）、ファクトリオートメーション、データセンター、そして風力発電向け用途が大きく伸長。電動・駆動のすべての分野・用途に展開。希土分離精製技術を積極的に活用。
- 露光関連材料は、進行する微細化・多層化・先端パッケージに開発速度を高めて即応。能力増強計画の履行を速めて、顧客の求める性能と供給を適時化。
- 5G対応製品の量産対応と開発を加速。
- マイクロLED部材、リチウムイオン電池性能向上剤、異種基板材料製品の立ち上げ。

加工・商事・技術サービス事業

	2020年3月期	2021年3月期	前期比 増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	1,047	972	△7.2
営業利益	148	143	△3.1

信越ポリマー社の半導体ウエハー容器の出荷は堅調でしたが、自動車用入力デバイスが自動車市況悪化の影響を受けました。



- 半導体ウエハー容器は、半導体デバイスとウエハー両市場の需要を確実に取り込み、自動車用入力デバイスの需要回復に即応。

③ 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,502億円増加し、3兆3,806億円となりました。主に、現金及び預金、有価証券、並びに有形固定資産の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ134億円減少し、4,939億円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,635億円増加し、2兆8,866億円となりました。主な増減内訳は、親会社株主に帰属する当期純利益2,937億円、配当金の支払914億円です。

④ キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

科 目	2020年3月期 (2019/4~2020/3)	2021年3月期 (2020/4~2021/3)	前期比
現金及び現金同等物期首残高	8,283	7,451	△ 832
①営業活動によるキャッシュ・フロー	4,123	4,011	△ 112
②投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,945	△ 2,507	1,438
③財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 940	△ 911	29
④換算差額他	△ 70	△ 28	42
現金及び現金同等物純増減額	△ 832	564	1,396
現金及び現金同等物期末残高	7,451	8,015	564

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に対して7.6%（564億円）増加し、8,015億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前期に比べ112億円減少し4,011億円となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益が4,021億円、減価償却費が1,438億円、法人税等の支払額が1,014億円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前期に比べ1,438億円減少し2,507億円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2,361億円、定期預金の純増額123億円などにより資金が減少したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、前期に比べ29億円減少し911億円となりました。これは、配当金の支払額914億円、自己株式の取得による支出106億円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期 (2016/4～ 2017/3)	2018年3月期 (2017/4～ 2018/3)	2019年3月期 (2018/4～ 2019/3)	2020年3月期 (2019/4～ 2020/3)	2021年3月期 (2020/4～ 2021/3)
自己資本比率 (%)	80.3	81.0	81.1	82.1	83.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	154.8	161.7	127.3	138.1	228.8
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (%)	4.9	4.7	3.7	5.7	6.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	550.2	554.9	533.4	810.7	702.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

⑤ 利益分配に関する基本方針及び当期の配当

当社は、長期的な観点に立って事業収益の拡大と堅固な財務基盤の維持に注力し、そうした経営努力の成果を株主の皆様へ適正かつ安定的に還元させていただくことを基本方針としております。内部留保金は、設備投資、研究開発投資、買収案件等に適時に充当し、競争力の強化とともに、今後の事業展開と更なる成長に積極的に活用し、企業価値を高めるよう努めております。未だに収束していない感染問題や今後起こり得る大きな経済変動に立ち向かうために、支えとなる財務基盤を保持します。この方針の下で当社は、株主還元を資本政策の一環として重視し、諸事情を勘案しつつ、配当性向35%前後を中長期的な目安に安定的な配当に努めてまいります。

当期の期末配当金は、先に行いました第2四半期末配当金110円に対し、30円増の1株につき140円（従来予想は130円）を予定しております。これにより、当期の年間配当金は前期の220円に対して30円増の1株当たり250円となります。

(2) 今後の見通し

冒頭で触れたように、当社の事業分野では需要が総じて回復してきており、また主要国の打ち出したあるいは打ち出そうとする経済対策が、世界経済に功を奏すると期待されています。その一方で、インフレーションの上振れの兆候があり、供給網（サプライチェーン）が乱れる現象が表れました。感染の状況も、ワクチン接種が進むものの、感染の揺れ戻しが起きており、予断を許しません。局所的な地政学リスクに加え、米中間で顕在化しつつある対立に注意を払わねばなりません。気象の大きな振れも懸念材料です。こうしたことに対する耐性を備えつつ、事業を遂行して収益の向上を図ってまいります。

上記を踏まえ、現時点で2022年3月期の業績予想を合理的に行うことのむずかしさから、連結業績予想は一旦未定といたしました。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

(3) 経営方針

① 会社の経営の基本方針

当社の目指すところは、素材と技術によって他の追随できない価値を社会と産業のために生み出し、株主の皆さまのご期待にお応えしていくことです。そのために、世界最高水準の技術や品質の追求とともに生産性の向上に絶え間なく努めながら、世界中の顧客に安定的に製品供給を行い、経済情勢や市況の変化に迅速かつ的確に対応できる経営を進めております。同時に、顧客や産業の課題解決に資する製品を数多く開発していきます。

人間社会の持続的な発展とその質の向上を、環境負荷を抑えつつ実現する必要性の高まる今日、効率を極めることが必須です。そのために当社が担い、果たせる役割は大きいと信じています。当社の多くの製品がこうした目的に資するように、そして当社製品が用いられれば用いられるほど産業と人々の暮らしに貢献できるというように取り組み、世界の産業と人々の生活を支えるエッセンシャルサプライヤーとしての役割を果たしていきます。

② 目標とする経営指標、中長期的な会社の経営戦略

目標とする経営指標は、年次ごとの増収、増益であります。当社の主要製品の中には、市況をはじめとした事業環境の変化の影響を受ける製品があります。短期間で急変する市況の中で各事業の経営を行うためには、外部環境の変化に速やかに対応していくことが必要です。先期において最高益を更新し、それに対して当期は減益を余儀なくされたものの、経常利益で4,000億円台を達成しました。更なる高みを目指して、計画を組み、作業に着手しました。

半導体デバイスが戦略物資と見なされるようになり、当社は技術と供給の両面において、適切な対応を図ります。近年、主要国が温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、いわゆるカーボンニュートラル（気候中立）の達成に向けて動き出しました。当社の事業には総じて、それ自体が温室効果ガス排出量の削減に役立つものが揃っています。それを拡充し、かつ時代の要請に適合すべく取り組んでいきます。加えて、温室効果ガス排出量の削減に役立つ技術の導入を実施していきます。

③ 会社の対処すべき課題

上記(2)及び(3)①と②で述べたところに沿って、継続的に業績の伸長を図っていきます。感染の収束にはまだ時間がかかるでしょうし、感染が収束した後、生活のしかたや経済活動が元に戻る部分と戻らない部分から成ることでしょう。当社は、そのことを新たな成長の機会と捉えます。いわゆるデジタルトランスフォーメーションの目的とするところは、経済の「脱物質化」と捉え、そこに貢献していきます。カーボンニュートラルを実現するための方策として、施行されるであろう炭素税に対する対策と準備を進めます。グローバル化の見直しや変容、米中対立に起因する世界経済のデカップリング（切り離し）が起り得る情勢下で、それが如何に展開しようと、エッセンシャルサプライヤーとして重要な役割を継続して果たすべく、機動的に取り組んでいきます。

セグメントごとに見ますと、次のごとくです。

塩化ビニル事業では、米国のシンテック社で、塩化ビニル樹脂の新工場を予定通り立ち上げ、需要の伸びに応えます。第2期の工事を着実に遂行し、その一方で後続の計画を検討します。

シリコン事業では、最終製品の生産能力増強を進め、全世界の顧客への供給体制と品揃えの拡充に取り組んでいます。顧客の課題解決に貢献する製品と用途の開発をより一層推し進めます。

機能性化学品事業では、セルロース事業で、日米欧の3拠点から多様な製品群の安定供給を図ります。これまで注力してきました製剤用や産業用に加え、食品用でも需要の広がりに応じていきます。フェロモン製品も適用品種を増やして、農産物収穫向上や森林保護に貢献していきます。ポバール他の新規用途においても拡販を推進します。

半導体シリコン事業では、半導体デバイス市場の短期的な変動はあるものの、長期に亘る成長は確実ゆえ、微細化やその他の要件を支える高品質なシリコンウエハーの安定供給継続のため、適切な手立てを施してまいります。今後とも投資効率を踏まえて顧客需要に応じていきます。

電子・機能材料事業では、希土類磁石事業で、日本とベトナムの2拠点での原料の精製から最終製品までの一貫生産体制を活かし、原料対策を入念に施すとともに、欧米で開始された供給に係る安全保障検討に対応していきます。半導体デバイスパッケージ材料、新種の基板材料や5G対応材料の上市を推し進めます。光ファイバー用プリフォームは、主要国で始まるインフラ投資に由来する需要を取り込みます。合成石英基板では、高品質とサイズ対応の迅速さで需要に応じていきます。フォトレジストでは、引き続き先端品の開発と安定供給を中心に据え、マスクブランクス先端品でも基板からの一貫生産体制で需要に応じていきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を適用しており、当面変更の予定はありません。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	836,448	866,882
受取手形及び売掛金	325,489	343,896
有価証券	251,377	286,039
棚卸資産	365,667	365,032
その他	52,723	59,085
貸倒引当金	△7,186	△6,028
流動資産合計	1,824,519	1,914,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	202,848	206,246
機械装置及び運搬具(純額)	440,595	559,992
土地	92,577	90,159
建設仮勘定	367,309	290,901
その他(純額)	16,584	17,850
有形固定資産合計	1,119,915	1,165,149
無形固定資産	10,099	8,922
投資その他の資産		
投資有価証券	126,060	150,573
繰延税金資産	63,735	58,703
その他	88,446	84,538
貸倒引当金	△2,291	△2,180
投資その他の資産合計	275,950	291,635
固定資産合計	1,405,965	1,465,706
資産合計	3,230,485	3,380,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,442	125,410
短期借入金	8,295	11,768
未払金	75,094	63,595
未払費用	73,292	69,226
未払法人税等	44,377	48,049
その他	40,291	45,196
流動負債合計	377,794	363,246
固定負債		
長期借入金	15,124	15,986
繰延税金負債	59,378	55,289
退職給付に係る負債	36,243	41,456
その他	18,803	18,011
固定負債合計	129,549	130,743
負債合計	507,343	493,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	128,323	128,954
利益剰余金	2,413,769	2,616,081
自己株式	△7,123	△12,612
株主資本合計	2,654,388	2,851,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,296	25,027
繰延ヘッジ損益	△2,799	△2,703
為替換算調整勘定	△8,187	△58,618
退職給付に係る調整累計額	△1,387	△2,409
その他の包括利益累計額合計	△2,078	△38,704
新株予約権	1,904	2,014
非支配株主持分	68,927	71,473
純資産合計	2,723,141	2,886,625
負債純資産合計	3,230,485	3,380,615

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,543,525	1,496,906
売上原価	987,782	953,203
売上総利益	555,743	543,702
販売費及び一般管理費	149,702	151,489
営業利益	406,041	392,213
営業外収益		
受取利息	10,777	5,016
受取配当金	7,388	7,417
持分法による投資利益	4,327	5,364
その他	2,047	3,517
営業外収益合計	24,541	21,316
営業外費用		
支払利息	749	728
固定資産除却損	1,202	1,954
その他	10,388	5,745
営業外費用合計	12,339	8,428
経常利益	418,242	405,101
特別利益		
投資有価証券売却益	7,774	-
特別利益合計	7,774	-
特別損失		
災害による損失	-	2,955
特別損失合計	-	2,955
税金等調整前当期純利益	426,017	402,145
法人税、住民税及び事業税	108,290	105,356
法人税等調整額	△564	△2,387
法人税等合計	107,726	102,968
当期純利益	318,290	299,177
非支配株主に帰属する当期純利益	4,263	5,444
親会社株主に帰属する当期純利益	314,027	293,732

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	318,290	299,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,732	14,787
繰延ヘッジ損益	△2,530	93
為替換算調整勘定	△13,642	△50,887
退職給付に係る調整額	△2,371	△1,010
持分法適用会社に対する持分相当額	△125	70
その他の包括利益合計	△31,401	△36,946
包括利益	286,889	262,230
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	283,128	257,106
非支配株主に係る包括利益	3,760	5,123

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	119,419	128,299	2,283,760	△94,702	2,436,777
当期変動額					
剰余金の配当			△87,410		△87,410
親会社株主に帰属する当期純利益			314,027		314,027
自己株式の取得				△10,566	△10,566
自己株式の処分		145		1,391	1,537
自己株式の消却		△96,753		96,753	-
利益剰余金から資本剰余金への振替		96,608	△96,608		-
その他		23			23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	23	130,008	87,579	217,611
当期末残高	119,419	128,323	2,413,769	△7,123	2,654,388

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	22,955	△266	5,143	987	28,820	1,143	65,814	2,532,556
当期変動額								
剰余金の配当								△87,410
親会社株主に帰属する当期純利益								314,027
自己株式の取得								△10,566
自己株式の処分								1,537
自己株式の消却								-
利益剰余金から資本剰余金への振替								-
その他								23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,659	△2,533	△13,331	△2,375	△30,899	760	3,112	△27,026
当期変動額合計	△12,659	△2,533	△13,331	△2,375	△30,899	760	3,112	190,584
当期末残高	10,296	△2,799	△8,187	△1,387	△2,078	1,904	68,927	2,723,141

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	119,419	128,323	2,413,769	△7,123	2,654,388
当期変動額					
剰余金の配当			△91,420		△91,420
親会社株主に帰属する 当期純利益			293,732		293,732
自己株式の取得				△10,657	△10,657
自己株式の処分		627		5,167	5,795
その他		3			3
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	630	202,311	△5,489	197,453
当期末残高	119,419	128,954	2,616,081	△12,612	2,851,842

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包 括利益累計 額合計			
当期首残高	10,296	△2,799	△8,187	△1,387	△2,078	1,904	68,927	2,723,141
当期変動額								
剰余金の配当								△91,420
親会社株主に帰属する 当期純利益								293,732
自己株式の取得								△10,657
自己株式の処分								5,795
その他								3
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	14,730	95	△50,430	△1,021	△36,625	110	2,546	△33,969
当期変動額合計	14,730	95	△50,430	△1,021	△36,625	110	2,546	163,484
当期末残高	25,027	△2,703	△58,618	△2,409	△38,704	2,014	71,473	2,886,625

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	426,017	402,145
減価償却費	131,172	143,807
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,723	2,860
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7,774	△1,687
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△493	△1,185
受取利息及び受取配当金	△18,166	△12,434
支払利息	749	728
為替差損益 (△は益)	3,464	△4,909
持分法による投資損益 (△は益)	△4,327	△5,364
災害による損失	-	2,955
売上債権の増減額 (△は増加)	11,215	△22,016
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△36,910	△3,898
長期前渡金の増減額 (△は増加)	3,579	4,109
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,892	△9,584
その他	△6,491	△7,402
小計	500,865	488,123
利息及び配当金の受取額	19,852	15,026
利息の支払額	△508	△571
法人税等の支払額	△107,824	△101,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,384	401,176
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△127,525	△12,334
有価証券の純増減額 (△は増加)	△1,063	△5,145
有形固定資産の取得による支出	△268,365	△236,195
無形固定資産の取得による支出	△1,063	△1,177
投資有価証券の取得による支出	△6,520	△3,616
投資有価証券の売却及び償還による収入	12,606	3,471
その他	△2,615	4,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394,547	△250,719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,265	701
長期借入れによる収入	8,384	4,578
長期借入金の返済による支出	△743	△796
自己株式の取得による支出	△10,566	△10,657
配当金の支払額	△87,410	△91,420
その他	△4,985	6,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,055	△91,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,001	△2,861
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△83,220	56,471
現金及び現金同等物の期首残高	828,345	745,125
現金及び現金同等物の期末残高	745,125	801,596

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、常務委員会など最高意思決定機関において、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に各事業本部あるいは各関係会社にて事業を展開しており、「塩ビ・化成品事業」、「シリコン事業」、「機能性化学品事業」、「半導体シリコン事業」、「電子・機能材料事業」及び「加工・商事・技術サービス事業」の6つの製品・サービス別セグメントから構成されていることから、これらを報告セグメントとしております。

各セグメントに属する主要製品及びサービスは、下記のとおりであります。

セグメント	主要製品・サービス
塩ビ・化成品事業	塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン
シリコン事業	シリコン
機能性化学品事業	セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン、塩ビ・酢ビ共重合樹脂
半導体シリコン事業	半導体シリコン
電子・機能材料事業	希土類磁石(電子産業用・一般用)、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル
加工・商事・技術サービス事業	樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング

② 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の測定方法

報告セグメントの利益は、営業利益であり、その会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は、概ね市場実勢価格に基づいております。ただし、同一事業所内でのセグメント間の振替高は、製造原価に基づいております。

なお、当社では、事業セグメントへの資産の配分は行っておりません。

③ 報告セグメントの売上高、利益（又は損失）、その他の項目に関する情報

(1) 当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注)	連結財務諸 表計上額
	塩ビ・ 化成品事業	シリコーン 事業	機能性 化学品事業	半導体 シリコン事業	電子・機能 材料事業	加工・商事・ 技術サービス 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	469,763	208,324	112,632	374,097	234,883	97,204	1,496,906	—	1,496,906
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,783	6,048	17,114	7	9,073	127,081	162,109	(162,109)	—
計	472,547	214,373	129,746	374,105	243,957	224,285	1,659,015	(162,109)	1,496,906
セグメント利益 (営業利益)	97,051	45,112	21,826	144,100	70,298	14,359	392,748	(535)	392,213
その他の項目									
減価償却費	42,993	18,049	13,608	43,825	21,351	4,487	144,315	(508)	143,807
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	96,162	26,276	14,791	41,697	47,370	4,082	230,382	(1,580)	228,801

(注) セグメント間取引消去によるものです。

(2) 前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注)	連結財務諸 表計上額
	塩ビ・ 化成品事業	シリコーン 事業	機能性 化学品事業	半導体 シリコン事業	電子・機能 材料事業	加工・商事・ 技術サービス 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	484,322	226,872	114,796	387,631	225,111	104,791	1,543,525	—	1,543,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,396	6,985	21,126	30	8,380	150,539	190,458	(190,458)	—
計	487,719	233,857	135,923	387,661	233,492	255,330	1,733,984	(190,458)	1,543,525
セグメント利益 (営業利益)	92,187	61,490	27,717	143,298	68,540	14,824	408,059	(2,018)	406,041
その他の項目									
減価償却費	34,205	16,249	11,481	43,435	20,872	5,320	131,564	(391)	131,172
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	102,098	35,500	18,834	58,908	46,262	5,308	266,913	(1,894)	265,018

(注) セグメント間取引消去によるものです。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	6,377円93銭	1株当たり純資産額	6,769円72銭
1株当たり当期純利益金額	755円17銭	1株当たり当期純利益金額	706円76銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	755円01銭	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	706円26銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額	(百万円)	(百万円)
親会社株主に帰属する当期純利益	314,027	293,732
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	314,027	293,732
期中平均株式数	415,838千株	415,602千株
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (うち連結子会社の潜在株式による調整額)	△4 (△4)	△11 (△11)
普通株式増加数 (うち新株予約権)	78千株 (78千株)	281千株 (281千株)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(補足資料)

1. 四半期業績の推移

(単位：億円)

	2020年3月期					2021年3月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
	2019年 4-6月	2019年 7-9月	2019年 10-12月	2020年 1-3月		2020年 4-6月	2020年 7-9月	2020年 10-12月	2021年 1-3月	
売上高	3,862	4,003	3,874	3,695	15,435	3,593	3,511	3,798	4,064	14,969
塩ビ・化成品	1,228	1,303	1,196	1,115	4,843	1,102	1,036	1,207	1,351	4,697
シリコーン	563	584	573	547	2,268	512	479	527	563	2,083
機能性化学品	289	293	292	273	1,147	274	257	293	300	1,126
半導体シリコン	990	974	992	918	3,876	949	941	920	929	3,740
電子・機能材料	547	566	564	571	2,251	525	571	604	647	2,348
加工・商事・ 技術サービス	242	280	255	268	1,047	228	225	246	271	972
営業利益	1,075	1,030	1,082	873	4,060	909	933	1,007	1,071	3,922
塩ビ・化成品	253	263	255	149	921	190	183	245	350	970
シリコーン	159	151	159	144	614	105	101	110	134	451
機能性化学品	75	63	74	63	277	50	58	62	47	218
半導体シリコン	394	350	376	311	1,432	385	370	371	314	1,441
電子・機能材料	166	167	181	170	685	149	185	180	186	702
加工・商事・ 技術サービス	35	36	37	37	148	26	37	37	41	143
経常利益	1,089	1,093	1,120	880	4,182	952	970	1,008	1,120	4,051
親会社株主に帰属する 当期純利益	840	809	818	671	3,140	693	709	730	804	2,937
研究開発費	129	118	114	123	485	123	121	129	137	512
海外売上高	2,809	2,958	2,835	2,681	11,284	2,649	2,581	2,817	3,022	11,071
連結売上高に 占める割合	73%	74%	73%	73%	73%	74%	74%	74%	74%	74%

2. 設備投資額と減価償却費 四半期推移

	2020年3月期					2021年3月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
	2019年 4-6月	2019年 7-9月	2019年 10-12月	2020年 1-3月		2020年 4-6月	2020年 7-9月	2020年 10-12月	2021年 1-3月	
設備投資額	563	605	622	858	2,650	527	582	636	541	2,288
塩ビ・化成品	183	202	216	418	1,020	259	212	236	253	961
シリコン	84	63	78	127	355	51	64	83	63	262
機能性化学品	50	54	70	13	188	32	43	39	32	147
半導体シリコン	147	168	124	149	589	103	117	98	97	416
電子・機能材料	87	113	126	134	462	67	140	173	92	473
加工・商事・ 技術サービス	12	12	10	18	53	16	7	6	10	40
減価償却費	316	337	317	341	1,311	311	344	371	410	1,438
塩ビ・化成品	82	92	85	81	342	89	109	111	118	429
シリコン	36	39	39	46	162	39	41	45	53	180
機能性化学品	24	26	26	37	114	32	32	35	35	136
半導体シリコン	112	116	102	102	434	92	99	114	131	438
電子・機能材料	48	51	51	58	208	47	50	54	60	213
加工・商事・ 技術サービス	12	12	12	16	53	10	11	11	12	44

3. シンテック社の業績

	2019年12月期		2020年12月期		増減率 (US\$ベース)	増減率 (円ベース)
	百万US\$	億円	百万US\$	億円		
売上高	3,151	3,436	3,182	3,399	+ 1.0%	△ 1.1%
経常利益	676	737	735	785	+ 8.7%	+ 6.5%
純利益	546	595	570	609	+ 4.4%	+ 2.3%
純資産	6,493	7,114	7,174	7,425		
総資産	7,618	8,346	8,160	8,445		

(注) 百万US\$未満を切捨てにより表示しております。

※為替レート(1-12月平均) :	2019年12月期	109.1円/\$
	2020年12月期	106.8円/\$

4. その他決算主要項目

(億円)

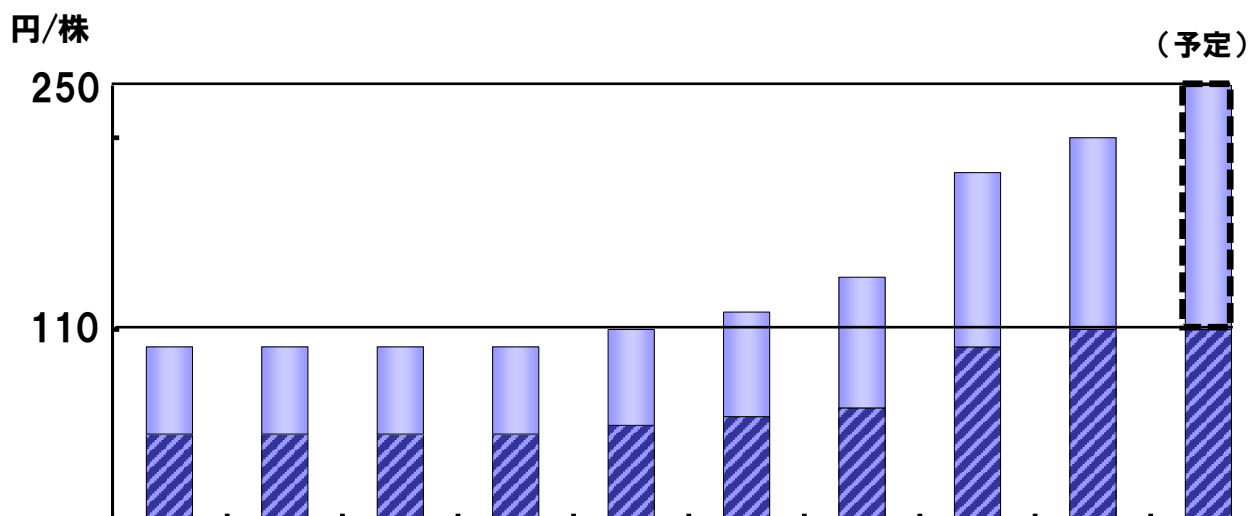
	2020年 3月期	2021年 3月期
純 資 産	27,231	28,866
総 資 産	32,304	33,806
1株当たり純資産	6,378円	6,770円
有利子負債残高	234	277
期末従業員数	22,783人	24,069人

5. 貸借対照表 前期末比増減の内訳

(億円)

	2020年 3月末	2021年 3月末	前期末比	内訳		2020年 3月末	2021年 3月末	前期末比	内訳		
				海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減				海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減	
流 動 資 産	18,245	19,149	904	△229	1,133	流 動 負 債	3,777	3,632	△145	△27	△118
現金・預金	8,364	8,668	304	△144	448	支払手形 掛金	1,364	1,254	△110	△14	△96
受取手形 掛金	3,254	3,438	184	△35	219	短期借入金	82	117	35	1	34
有価証券	2,513	2,860	347	△1	348	未払法人税等	443	480	37	0	37
たな卸資産	3,656	3,650	△6	△48	42	そ の 他	1,886	1,780	△106	△14	△92
そ の 他	455	530	75	△1	76	固 定 負 債	1,295	1,307	12	△26	38
						負 債 合 計	5,073	4,939	△134	△53	△81
固 定 資 産	14,059	14,657	598	△349	947	株 主 資 本	26,543	28,518	1,975	0	1,975
有形固定資産	11,199	11,651	452	△340	792	その他の包括 利益累計額	△20	△387	△367	△516	149
無形固定資産	100	89	△11	0	△11	新株予約権 非支配株主持分	708	734	26	△9	35
投資その他の 資産	2,759	2,916	157	△9	166	純資産合計	27,231	28,866	1,635	△525	2,160
資 産 合 計	32,304	33,806	1,502	△578	2,080	負債・純資産計 合	32,304	33,806	1,502	△578	2,080

6. 配当金の推移



		2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
配当金	上半期	50円	50円	50円	50円	55円	60円	65円	100円	110円	110円
	年間	100円	100円	100円	100円	110円	120円	140円	200円	220円	※250円
1株当たり 当期純利益	年間	237.0円	248.9円	267.2円	302.0円	349.5円	412.9円	624.3円	726.0円	755.2円	706.8円
配当性向	年間	42.2%	40.2%	37.4%	33.1%	31.5%	29.1%	22.4%	27.5%	29.1%	※35.4%

※ 予定

7. 市場別売上高

(億円)

	日本	海外					計	連結
		米国	アジア・オセアニア		欧州	その他		
			うち、中国					
2020年3月期	27%	22%	33%	10%	11%	7%	73%	15,435
	4,150	3,353	5,199	1,560	1,653	1,078	11,284	
2021年3月期	26%	23%	34%	10%	10%	7%	74%	14,969
	3,897	3,432	5,121	1,517	1,526	990	11,071	

(注) %は連結売上高に占める割合を示しています。

8. セグメント別資産

(億円)

	塩ビ・化成品	シリコン	機能性化学品	半導体シリコン	電子・機能材料	加工・商事・ 技術サービス	全社	連結
2020年 3月末	9,404	3,088	1,844	8,974	3,143	1,651	4,198	32,304
2021年 3月末	9,425	3,199	1,923	9,708	3,574	1,681	4,292	33,806

(注) 簡略的な方法により作成しております。

9. 平均為替レートの推移

		US\$ (円/\$)				EUR (円/€)					
		3ヵ月の トレンド (ご参考)	6ヵ月		12ヵ月		3ヵ月の トレンド (ご参考)	6ヵ月		12ヵ月	
			1~6月 7~12月	4~9月 10~3月	1~12月 ※	4~3月		1~6月 7~12月	4~9月 10~3月	1~12月 ※	4~3月
2019年	1~3月	110.2	110.1	108.6	109.1	108.7	125.1	124.3	121.4	122.1	120.8
	4~6月	109.9					123.5				
	7~9月	107.4	108.1	108.8	106.8	106.1	119.3	119.8	120.2		
	10~12月	108.8					120.3				
2020年	1~3月	108.9	108.3	106.9	106.8	106.1	120.1	119.3	121.3	121.8	123.7
	4~6月	107.6					118.5				
	7~9月	106.2	105.4	105.2	105.2	105.2	124.1	124.3	126.1		
	10~12月	104.5					124.5				
2021年	1~3月	105.9					127.7				

(期末日レート) 2019年12月末 109.56 2020年3月末 108.83 2019年12月末 122.54 2020年3月末 119.55
 2020年12月末 103.50 2021年3月末 110.71 2020年12月末 126.95 2021年3月末 129.80

※ 1~12月平均為替レートは海外子会社の損益を連結する際に使用しております。

10. トピックス（2020年4月～2021年4月）

- 2020年5月 シリコン剥離剤に用いる白金の使用量を約2分の1に低減
- 2020年7月 新規シリコンエマルジョンを開発
- 2020年9月 二次加硫を必要としない成形用シリコンゴムを開発
- 2020年10月 フォトレジストの生産能力増強を発表（直江津、台湾）
- 2020年11月 ゴム成形品の軽量化を実現する成形用シリコンゴムを開発
- 2020年12月 5G向け熱硬化性低誘電樹脂「SLKシリーズ」の量産化投資を発表
- 2021年1月 電気自動車・ハイブリッド自動車向けの放熱用シリコン材料を開発
- 2021年1月 シンテック社の塩ビの生産能力増強を発表（アメリカ）
- 2021年1月 塩化ビニル樹脂の値上げを発表（国内）
- 2021年3月 シリコンの販売価格の改定を発表

★ 上記トピックスの詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.shinetsu.co.jp/jp/news/>

11. 主な設備投資

★: 完成 ☆: 完成予定

会社名(場所)	内容	投資金額	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
			1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H
シンテック社(アメリカ)	エチレンの工場新設	14億ドル			★							
シンテック社(アメリカ)	PVCの新増設(第一期)	14.9億ドル					☆					
シンテック社(アメリカ)	PVCの増設(第二期)	12.5億ドル										☆
シイエツ・シリコンズ・オブ・アメリカ社(アメリカ)	シリコン製品の生産能力増強	24億円	★									
信越化学および海外主要拠点(群馬、タイなど)	シリコンモノマー、ポリマーの生産能力増強	1,100億円	※1	→				☆				
信越化学(直江津) SEタイロース社(ドイツ)	セルロースの製造設備増強	200億円		★								
信越化学(直江津) 信越電子材料股份有限公司(台湾)	フォトレジストの生産能力増強	300億円					台湾 ★		直江津 ☆			
信越化学(武生、直江津)	マスクブランクの生産能力増強	140億円		直江津 ★			武生 ★					
信越化学(鹿島) 信越(江蘇)光棒有限公司(中国) 長飛信越(湖北)光棒有限公司(中国)	光ファイバー用プリフォームの生産能力増強	180億円	※2 ★			※3 ★						
信越化学(直江津)	5G向け熱硬化性低誘電樹脂の量産化投資	30億円						☆				

※1 順次立ち上げ ※2 鹿島、湖北 ※3 江蘇